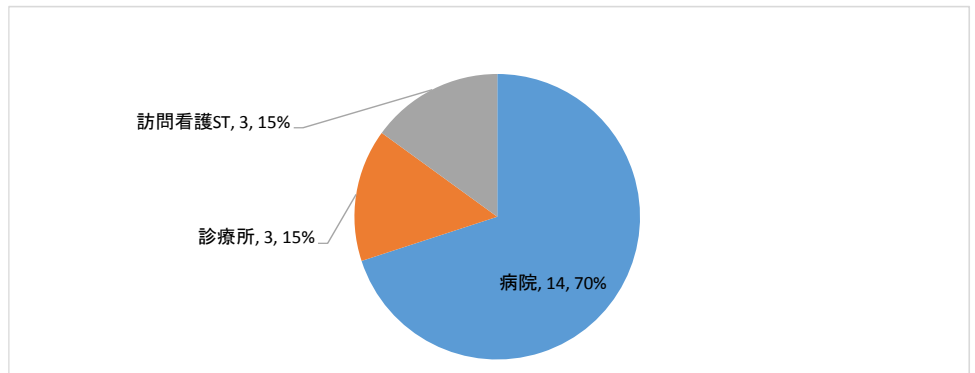


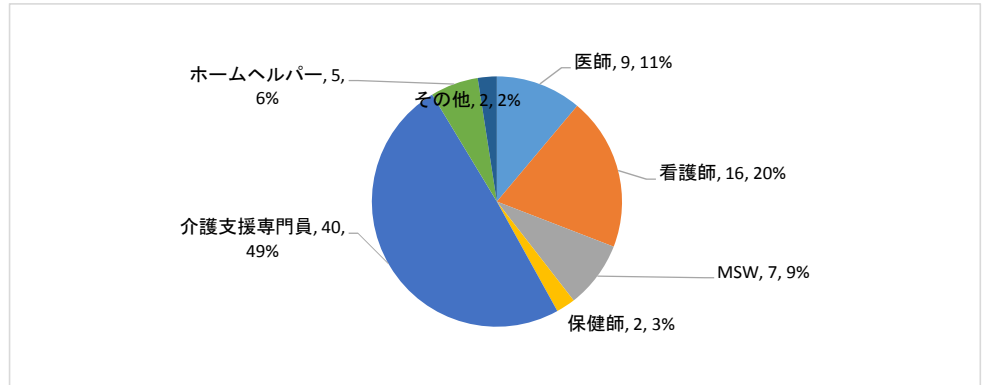
① 所属(医療機関のみ)

	回答数	比率
病院	14	70.0%
診療所	3	15.0%
訪問看護ST	3	15.0%
合計	20	100.0%



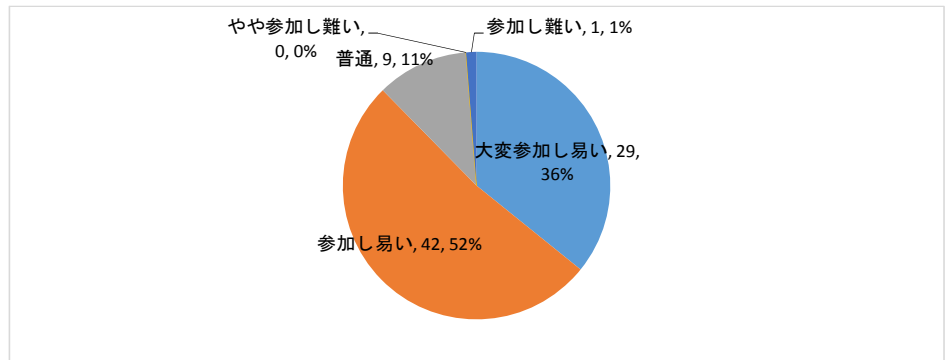
② 職種

	回答数	比率
医師	9	11.1%
看護師	16	19.8%
MSW	7	8.6%
保健師	2	2.5%
介護支援専門員	40	49.4%
ホームヘルパー	5	6.2%
その他	2	2.5%
合計	81	100.0%



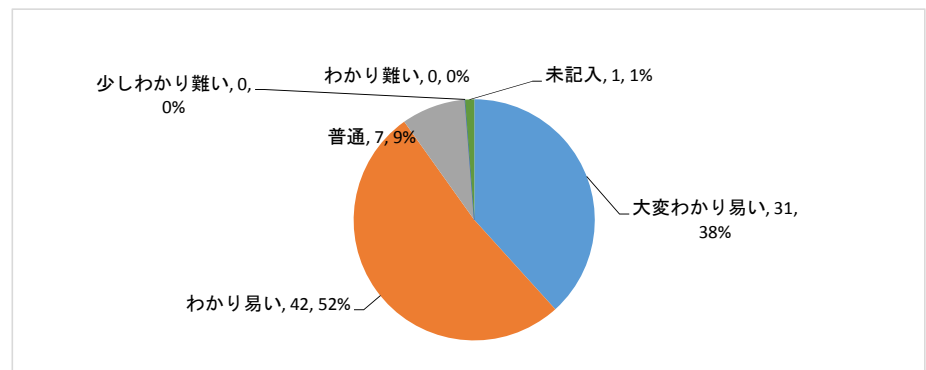
1 多職種連携学習会は、参加しやすい場、雰囲気でしたか？

	回答数	比率
大変参加し易い	29	35.8%
参加し易い	42	51.9%
普通	9	11.1%
やや参加し難い	0	0.0%
参加し難い	1	1.2%
合計	81	100.0%



2 講演の内容は分かりやすかったですか？

	回答数	比率
大変わかり易い	31	38.3%
わかり易い	42	51.9%
普通	7	8.6%
少しわかり難い	0	0.0%
わかり難い	0	0.0%
未記入	1	1.2%
合計	81	100.0%



2-② 具体的に分かりやすかったこと、分かりにくかったことは？

医師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・看護・介護の情報共有。一定の共通様式がいるのではないか。</li> <li>・始めにディスカッションのグラウンドルール(書記を決める、発言する)などの説明をしてほしかった。アジェンダが不明確であった。</li> <li>・救急隊の動き</li> <li>・救急搬送の際の問題点</li> <li>・遅刻した為聞けなかったです。</li> <li>・救急隊が困る事例やその対応と苦勞がわかりました。</li> <li>・他職種の苦勞がわかった。体系的ではなかった。</li> </ul>
看護師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り連絡板の活用をしたいと思います。</li> <li>・救急時(救急隊)の活動内容、手順がよく理解できました。</li> <li>・グループワークの質問内容が分かりにくかった。</li> <li>・それぞれの専門職の立場で地域住民に関わっていることがわかった。</li> <li>・急変時、緊急時の対応、備えについて問題点。患者様ご家族様との意思確認の重要性。</li> <li>・テーマが具体的だった</li> <li>・DNARの確認をとっているのか、まだなのか、分かりやすく表示することが大切。ファーストツールについて説明が大切であること。</li> <li>・救急隊の話はためになった。</li> </ul>
MSW	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急搬送システムをもう少し詳しく聞きたいです。</li> <li>・グループワークの場がお互いに発信しやすい雰囲気質問もやすかったため。</li> <li>・ワーク②事例があると意見交換しやすかったです。</li> </ul>
保健師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急隊の活動におけるDNARの重要性</li> <li>・具体的な事例の提供があり、皆も共感しやすいようなものであったので、グループワークでも意見が出やすいように思った。</li> </ul>
介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時に備えてできることは事前の備えとして実施できやすいと思う。</li> <li>・救急の流れ。意思確認のこと。</li> <li>・DNARについて理解できました。</li> <li>・病院やヘルパーが困らないようにCMとしてできること、在宅サービスを取り入れていきたい。</li> <li>・緊急時の対応等、一人の考えと皆の考えが違うこと。視点が違くと多くの意見があることなど理解できた。</li> <li>・米澤先生のお話</li> <li>・急変時の連携で救急隊の方の実態がよくわかりました。グループワークの議題が少し分かりにくかったです。</li> <li>・緊急対応に備える重要性</li> <li>・Dr、病院MSW、介護職それぞれの立場がわかりました。</li> <li>・多職種の考え方を知る事ができた。</li> <li>・緊急時の備えが分かりやすかったです。</li> <li>・グループで話し合う内容がそれほど難しくなかった。</li> <li>・緊急時の対応 DrやMSWさんからの意見が聞けて、自分たちには気が付かない意見も多々あり参考になりました。</li> <li>・緊急時の事を救急隊員、医療、CMそれぞれの視点で意見交換ができて、非常に分かりやすかった。</li> <li>・消防隊の方の苦勞されている様子がわかりました。知らない部分が多かったです。</li> <li>・在宅に熱心な他職種でのグループワークはとても充実していました。講義も大変わかりやすかったです。</li> <li>・医療連携の大切さと難しさ</li> <li>・グループ内にDrがいて、Drから欲しい情報等きちんと確認することができた。</li> <li>・救急搬送のシステムがよく分かった。</li> <li>・事例がある</li> <li>・救急対応では、情報を集めておく大切さを分かりやすく説明して頂いた。</li> <li>・救急搬送時の状況</li> <li>・テーマ</li> </ul>
ホームヘルパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体</li> <li>・救急隊の人の事情がわかった。救急隊の人のがんばっておられるところがよくわかった。</li> <li>・課題についての考え方。文章で1つずつ見ていくとより理解できた。</li> <li>・救急搬送システムについてや、救急対応における問題など、詳しく聞くことが出来た。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネの話が中心でしたが、いろいろな職業の方を主役にしてこの様なミーティングができると</li> <li>・れんらく板の存在を知ることができた。緊急時の対応や利用者さんとの連絡がとれなかった時の対応などを知る事ができた。</li> </ul>

3 グループワーク(多職種連携の場)を通じて、出来たこと、得られたことを教えてください。

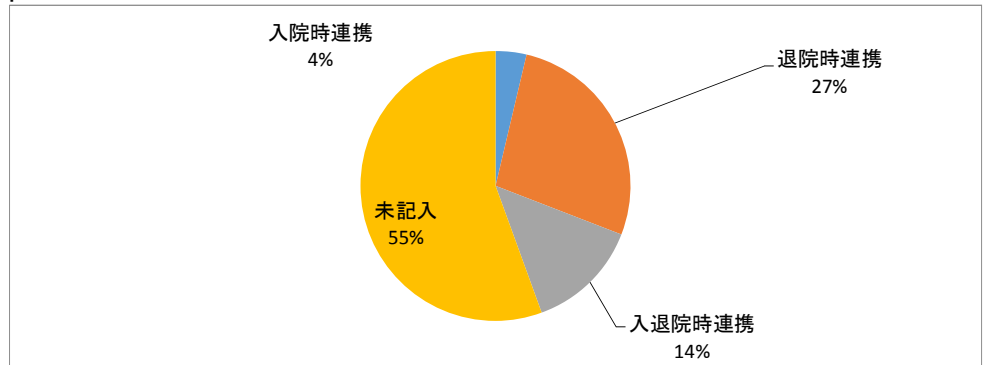
医師	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの置かれた場での問題点を抽出、共有することができた。</li> <li>グループの人数を減らすかグループワークの時間をもう少し長くした方がよい。</li> <li>多職種の方々の思いがわかった。</li> <li>ケアマネージャーやMSWの方が普段どのように緊急時の対応を考えておられるか。また、実際に困っている点があるかということ。</li> <li>CMさんの考え方や仕事内容を詳しく知る事ができました。今後、連携がより重要になると思いました。</li> <li>それぞれ働く場所が違う方と話せて、それぞれの場での苦労や互いに求められていることがわかり良かったです。</li> <li>職種毎にいろいろな考え方、対応策を講じておられることがわかった。</li> <li>他職の努力がわかった。連携の重要性和難しさ。</li> </ul>
看護師	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職種で苦労している事を話し合うことで自分達が出来たことも考え直すことができた。</li> <li>在宅でのDNARの確認。KPだけでなく家族(他の)にも確認できているか。搬送の種別・窒息・心停止・ガン末期はどの場合でも搬送を考えるのか等</li> <li>ケアマネと情報共有が大事</li> <li>各事業所で工夫されている事を知る事ができた。</li> <li>お互いの立場がよくわかった。</li> <li>地域での活動が病院の中で働いていると伝わりづらいので、このような場があると顔が見える連携にもつながると思いました。</li> <li>関わりのない職種と話せてよかった。</li> <li>多職種と連携を図ることができ、地域の方々の意見を聞く貴重な時間となりました。</li> <li>ケアマネさんが多いGでケアマネの立場の意見を聞いて良かった。</li> <li>普段からの連携が必要なことがわかりました。</li> <li>緊急時に備えて対応を。再確認、認識する事ができました。今後につなげていきます。</li> <li>実際に顔が見えると、他施設、他職種であっても距離感が近くなり、連携しやすくなる。</li> <li>こういう場で情報を共有することが大切と思った。各々での立場での考えを知れた。</li> </ul>
MSW	<ul style="list-style-type: none"> <li>他職種の方の気持ちが少し分かった。もっと相談していいのだと思えた。</li> <li>顔を合わせた関係作り</li> <li>他職種の方が普段どのように地域の高齢者の方と関わっているのかを知る事が出来て良い勉強になりました。</li> <li>違う職種の方の意見が聞いたのが良かったです。職種間の垣根がなくなったように思います。</li> <li>それぞれの専門職が大切にしたいこと、重要視したいことを持ち寄ればよりよいサポート体制が出来上がっていくと思うので、日々の共有が大切だと思いました。</li> </ul>
保健師	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな職種の方の考え方をお互いきけて有意義でした。</li> <li>CMさんの普段の苦労や話しやすい雰囲気よかったです。</li> </ul>
介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の意見は勉強になった。</li> <li>情報共有の大切さ</li> <li>各職種の意見が聞いて良かったです。</li> <li>受け入れる病院側の立場がよくわかった。</li> <li>それぞれの職種での苦労がよくわかった。</li> <li>現場のDrからの意見、他多職種の意見が得られてよかった。顔の見える関係をつくりたい。</li> <li>各職種によって様々な意見を聞いて、今後活用できればと思う。</li> <li>多職種の意見を聞き、緊急時に違う視点からどのように準備をするべきか考えさせられた。</li> <li>主治医からケアマネージャーに対する意見を頂いたり、退院時カンファレンス開催の調整の難しさ等が分かりました。</li> <li>主治医連絡票の活用を積極的に行っても大丈夫</li> <li>日頃からのDrとの関わり、ツールの使用、多職種で情報共有することの重要性。</li> <li>医師よりもっと連携をしてほしいと言われ、利用者の変化等、報告だけでも連絡していこうと思いました。</li> <li>アセスメントシートの活用、充実</li> <li>期待種の方と話ができ、立場の違い、ケアマネに期待されていること等がわかり、よかった。</li> <li>多職種の方々とそれぞれの立場からの意見が聞いてとても良かったです。</li> <li>多職種の方達と話し合うことが出来て、それぞれの立場での意図するところが分かりました。</li> <li>緊急時の対応について、それぞれの意見が聞いて参考になりました。</li> <li>特に医療系職種の方は行政と連携をとっておられる。</li> <li>職種が変われば視点が変わるという事が、目からウロコでした。やはり連携って大切ですね。</li> <li>多種の方の話聞いて、不安だったことが解消できた。</li> <li>ソーシャルワーカーさんとの連携をもっと積極的に行っていければと思います。</li> <li>かかりつけ医への連携タイミング。入院ケモから外来ケモにつながるタイミングで緩和病院へつないでいく</li> <li>情報を共有していくツールを充実させる。</li> <li>緊急時にできる事が多くあると実感した。今までできていなかった事を今後利用していきたい。</li> <li>他の方の取組みや悩みも聞いた。・対応方法</li> <li>緊急時の対応として専門職としてできることを話し合いで今後活かしていきたいと思います。</li> <li>平日頃から、多職種での連携を図る上で、今回の様な学習会、会議、研修会の場を活用していきたい。</li> <li>Drの意見は先を読んでおられる。大変ためになりました。</li> </ul>
ホームヘルパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携</li> <li>それぞれの立場からのアプローチが分かって良かった。</li> <li>ケースの中でヘルパーがやるべきことについて改めて考えさせられた。</li> <li>情報共有の大切さ。緊急時の備えがとても大事であるが、独居やFaの対応の違いもあり難しい面もたくさんある。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な職種の方、それぞれの点から意見が聞けた事。</li> <li>多職種連携で困難な場合はより重要になる。</li> </ul>

4 この学習会での学びを通じて、あすからできる(と考えた)取り組みについて

医師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種との連携</li> <li>・ケアマネージャーや看護師など地域メディカルスタッフの方々との必要時の情報共有。</li> <li>・退院前カンファレンスをもっと開いていく。</li> <li>・症状説明をきっちりして帰ってもらう。</li> <li>・クリニックでも「見守り連絡板」を配りたい。</li> <li>・ケアマネージャーに連絡する。</li> </ul>
看護師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報統一でムダな情報収集をできるだけ少なくする。</li> <li>・介護サービス提供事業所の方の、・病院に入院時付き添っても扱いがつかない・何でも全て知ってる訳ではないのに聞かれる・入院しても同じことを何度もきかれる等 意見が聞けて参考になった。</li> <li>・見守り連絡板の活用</li> <li>・見守り連絡板を活用する</li> <li>・専門職としてできることを、それぞれの専門性をふまえて意見が出ていたので、取り入れていければと思う。</li> <li>・退院前カンファレンスでPt・Faの意向や緊急時の対応を共通認識できるようにしたいです。</li> <li>・他スタッフに伝えたい</li> <li>・在宅側との連携の必要性。</li> <li>・主治医Drに患者様の情報や状況を伝えたいと思います。</li> <li>・利用者一人一人への対応確認</li> <li>・往診のDrやNsだけでなく担当利用者が、行かれている病院の把握と連携を行ってほしいと思います。</li> </ul>
保健師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の事業所に連携を取っていく</li> <li>・自ら職種をこえて関わっていきたくて思いました。</li> <li>・地域との連携を大切にしたい。</li> </ul>
介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携をはかる</li> <li>・全員に見守り連絡板を。</li> <li>・連携を忘れない。</li> <li>・見守り連絡板の設置の徹底。</li> <li>・緊急時の備え、搬送する側としてされる側が困らないように情報をまとめる。連絡先や保険証類をまとめる。見守り連絡板を活用→古いものは確認していく。</li> <li>・緊急時の見守り連絡板</li> <li>・元気なうちからどのような事が起こりうるのか家族様に踏み込んで連絡先などを聞いておきたいと考えました。</li> <li>・退院時カンファレンスにケアマネからも在宅医に相談(調整)してみようと思います。</li> <li>・見守り連絡板を活用する</li> <li>・見守り連絡板を再度確認すること。</li> <li>・緊急時対応、体制</li> <li>・家族に対するアプローチや主治医に対するアプローチの仕方をもう一度考えて取り組みたい。</li> <li>・多職種の方との交流ツールを利用して取り組みたいです。</li> <li>・医療との連携を頑張ります。</li> <li>・アセスメントをしっかりと行う。</li> <li>・包括をもっと巻き込む</li> <li>・緊急時の対応を日頃から家族、本人と話し合っておこうと思いました。</li> <li>・医師との連携をもっととっていきたくて思っています。</li> <li>・情報提供(HP・救急)時にどこで亡くなりたかなど意思確認同意の必要性を学び実践していきたい。</li> <li>・利用者(患者)さんの意見を日頃から確認しておくこと。</li> <li>・主治医との連携</li> <li>・事業内で全利用者様の共有など</li> <li>・悩みは声に出して伝えたい</li> <li>・Drと直接お話できる場でよかったです。</li> </ul>
ホームヘルパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会は大切だと思いました。</li> <li>・とにかく色々なことを話し確認し、共有することが大事だと思ったので、報告、協力していきたいです。</li> <li>・事業所で作っている緊急時の対応の用紙の活用や見直し。スタッフへの再度周知。</li> </ul>

5 講演の内容は分かりやすかったですか？

	回答数	比率
入院時連携	3	3.7%
退院時連携	22	27.2%
入退院時連携	11	13.6%
未記入	45	55.6%
合計	81	100.0%



その他(具体的に)

看護師	・災害時の対応
MSW	・身寄りのない人の支援づくり ・スムーズに連携を図るために出来ること。
介護支援専門員	・ターミナルケアについて ・参加したことで自分の知識が増えました。ありがとうございました。活発な意見交換ができました。
ホームヘルパー	・医療的なアプローチの中でヘルパーの出来ること

その他、感想やご意見など自由にご記入ください。

医師	・カフェ形式にすると議論が円滑に進むかと思えます。 ・グループワーク②のテーマがぼんやりしていて分かりづらかったので、症例ベースでやった方がよりやりやすくなると思えました。 ・「見守り連絡板」のフォーマットをできればください。やすお脳外科クリニック ・グループワークのテーマは絞らない方がいいと思った。
看護師	・入院した方の情報で退院後に困るであろう人を早く介護支援センター(地域総合支援センター)につないでくれるとより早い対応で本人・家族にとってベストな準備をして退院できると思う。
MSW	・初めての参加でしたが、いろいろな方と話ができて楽しかったです。 ・次回も参加したい。
保健師	・意見交換が活発にできたと思えます。
介護支援専門員	・とても勉強になりました。ありがとうございました。 ・ありがとうございました。 ・緊急時の社会資源を把握しておくことが大切だと思う、ケア会議の開催で日頃から総合支援センターと連携しておく ・話やすい良い雰囲気でした。

**1 研修を通して、分かりやすかった点、難しかった点**

- (1) 明石市の救急搬送の現状やしくみについて理解できた
- (2) 情報を共有化するためのシステム構築が十分でないことが理解できた
- (3) 見守りれんらくばんについて理解できた（活用法等）
- (4) 他職種の視点や役割、活動について理解できた
- (5) 急変時の備えや急変時の対応、連携の必要性について理解できた
- (6) DNARについて、本人、家族、支援者とで意思疎通が必要なことが理解できた
- (7) グループワークについて  
（議題が明確でなく分かりにくかった、事例があるほうがわかりやすい等）
- (8) 退院後の患者の生活がイメージできた
- (9) 在宅医の利用、活用の幅が広がった

**2 グループワークを通じてできたこと、得られたこと**

- (1) 職種間や施設と在宅等異なる立場の意見や活動内容を知ることができた
- (2) 見守りれんらくばんについて知ることができ、活用したい。
- (3) 入院時に必要な情報について知ることができた。
- (4) 退院時に必要な情報について知ることができた。
- (5) 日々の連携の重要性和難しさを感じた。  
（情報共有、顔の見える関係、退院カンファレンス、主治医連絡票の活用等）
- (6) DNARについての意思確認、意思決定支援（居宅介護支援契約時等）の必要性
- (7) 在宅生活の様子がわかり、イメージができた。
- (8) 他職種であっても意外と同じ問題を感じている。
- (9) 在宅に医療の目があることで、身体状況の変化等今後の予測ができる。
- (10) 服薬情報の重要性、利用について理解できた。
- (11) 状態の変化やライフステージにより支援者が変更されるが、それまでに共有した本人、家族の意向が一定の書式がなく、引き継がれない。
- (12) かかりつけ医がいない患者がいることを知った。
- (13) 訪問診療の利用をもっと考えていきたい。
- (14) 連携がとりにくい医師がいる。

**3 この学習会での学びを通して、明日からできる(と考えた)取組について**

- (1) 密な連携（職種間、施設・事業所間、相談窓口、タイミング等）
- (2) かかりつけ医、在宅医との連携
- (3) DNARについての意向確認、タイミングを考える
- (4) 情報共有  
（タイミング、相手が必要とする情報の整理、様式や提供方法の統一、施設内での共有）
- (5) 本人や家族の意向を確認する
- (6) 見守りれんらくばんの活用
- (7) 緊急時の備え
- (8) 医療について、在宅サービスについての知識・情報の習得
- (9) 退院前カンファレンスの開催（病状、症状の説明をして退院支援を行う）
- (10) 他職種の考え方、視点の理解
- (11) 地域総合支援センター等地域との連携
- (12) アセスメント力をつける
- (13) 利用者に関わる者がチームとなり最新の情報を共有する

**4 今後、取り上げてほしいテーマや講演内容**

- (1) ACPの実践
- (2) 他職種との連携について
- (3) それぞれの職種の活動について
- (4) 意思決定支援
- (5) DNARについて
- (6) 退院カンファレンス、退院時の支援についての実例
- (7) 災害時の対応
- (8) 身寄りのない人への支援
- (9) ターミナル期について
- (10) 在宅医との情報交換会
- (11) 精神面（鬱等）に合わせた対応、接し方、情報の伝え方